

# さいたま市の財政

## 《予算概要版》

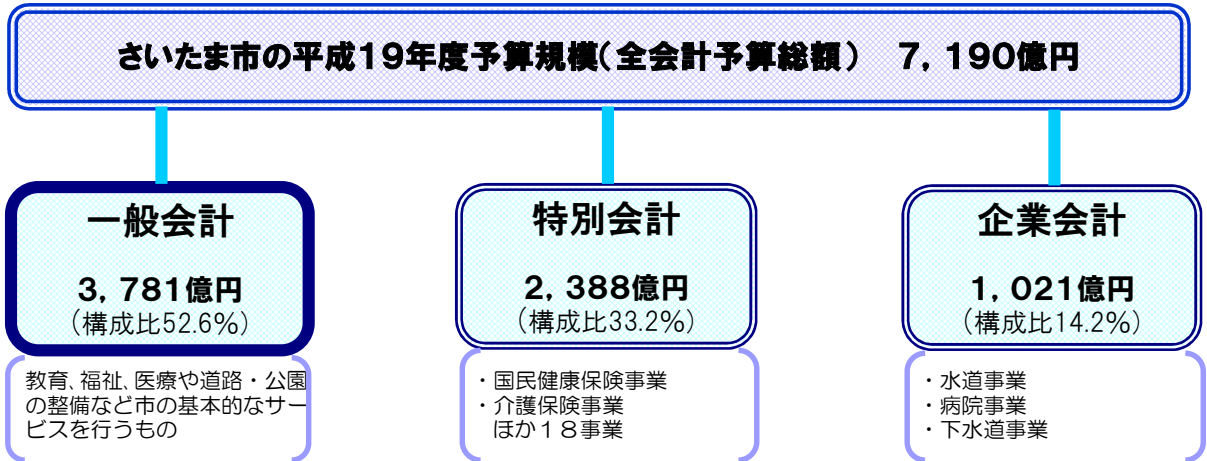
♪ さいたま市のお金の使いみち ♪



平成19年4月

## 平成19年度当初予算の概要

さいたま市の予算は次のとおり、3つの会計区分から構成されています。



一般会計予算額を歳入・歳出(性質別)に分けて見ていくと、次のようになります。

平成19年度一般会計歳入予算 (単位：億円)				平成19年度一般会計歳出予算 (性質別) (単位：億円)			
区 分		予算額	構成比	区 分		予算額	構成比
自主財源	市税	2,174	57.5%	義務的経費	人件費	774	20.5%
	使用料・手数料ほか	472	12.5%		扶助費	478	12.6%
依存財源	国庫・県支出金ほか	765	20.2%		公債費	363	9.6%
	市債	370	9.8%	投資的経費	730	19.3%	
<b>歳入合計</b>		<b>3,781</b>	<b>100%</b>	その他の経費	物件費ほか	910	24.0%
					繰出金	298	7.9%
					維持補修費	45	1.2%
					積立金ほか	183	4.9%
				<b>歳出合計</b>		<b>3,781</b>	<b>100%</b>

さらに歳出予算を目的別(割合の多い順)に分けて見ていくと、次のようになります。

平成19年度一般会計歳出予算(目的別) (単位：億円)			
区分(目的別)	予算額	構成比	説 明
民生費	982	26.0%	保育園・乳幼児医療費、児童手当等に要する経費
土木費	960	25.4%	道路・公園・河川整備などに要する経費
総務費	451	11.9%	住民票の発行、コミュニティセンターの運営、選挙などに要する経費
教育費	386	10.2%	小学校・中学校教育、公民館・図書館の運営などに要する経費
公債費	383	10.1%	市債の元利償還に要する経費
衛生費	377	10.0%	予防接種、健康診査、ゴミの収集・処理などに要する経費
その他	242	6.4%	議会運営・消防などに要する経費
<b>歳出合計</b>		<b>3,781</b>	<b>100%</b>

## 平成19年度の主な新規事業

平成19年度予算の特徴は、市民ニーズへの的確な対応を図るため、次の3つのキーワードに係る事業を重点項目としました。

### (1) 子育てするなら さいたま市

■未来を担う子どもたちが健やかに育つよう、子育て支援策を展開します。

- 育児不安を抱える家庭に、家事・育児ヘルパーを派遣します。
- 平成19年4月、緑区東浦和に単独型の地域子育て支援センターを開設します。
- 平成19年4月、桜区田島に障害児の早期発見・療育のための通園施設「療育センターさくら草」を開設します。
- 平成19年7月、小学校高学年から中学生の子どもの心の問題に対応する精神保健相談室を設置します。
- 市内の小中学校に空調設備を整備します。
- 平成19年4月、辻南小学校を開校します。
- 平成19年4月、市立浦和高等学校内に市立初の中高一貫校・浦和中学校を開校します。



### (2) 市民の皆様との協働

■市民と行政とが対等のパートナーとしてともに都市づくりを担う施策を展開します。

- 平成19年秋、浦和駅東口駅前再開発ビル内に公共地下駐車場、コミュニティーセンター、市民活動サポートセンター及び中央図書館等を開設します。
- 団塊世代の知識や経験を地域社会に還元するため、退職者を登録しボランティア団体や企業などに紹介するシルバーバンクを設置します。

### (3) 安心・安全なまちづくり

■市民が安心して暮らせる、安全で快適な生活環境を確保します。

- 平成19年4月、中央区鈴谷に保健衛生及び環境公害等に関する検査研究施設として健康科学研究センターを開設します。
- 安心安全ハンドブックを作成し、全世帯に配布します。
- 大規模災害における災害情報や避難施設などを提供するホームページを構築します。
- 子どもの下校時刻に合わせて、青色防犯灯を搭載した車両で各区内を巡回する防犯パトロールを実施します。



前のページの平成19年度一般会計歳入・歳出（性質別）予算を年間500万円の  
家計に例えた場合は次のようになります。

1年間に家族で稼ぐ  
お金の見込み  
350万円

市が自主的に収入できる  
「自主財源」の比率は、  
**70%**となっております。  
ちなみに昨年度は**64.5%**  
でした。

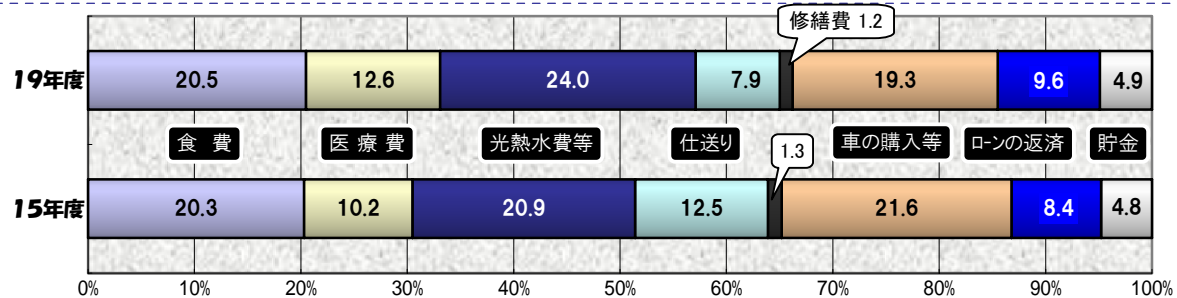


食費や医療費などの  
生活費  
326万円

《年間の収入》		《年間の支出》	
給料(市税)	287万円	食費(人件費)	103万円
パート等、家族で稼いだ収入 (使用料・手数料ほか)	63万円	家族の医療費(扶助費)	63万円
親からの仕送り・医療費支援など (国庫・県支出金ほか)	101万円	光熱水費、衣料費など(物件費ほか)	120万円
土地や車などを購入するための借金 (市債)	49万円	生計を別にしている家族への仕送り (繰出金)	40万円
収入計	500万円	車の修理代や家の修繕費など (維持補修費)	6万円
		車の購入や家の増改築、土地の購入費 (投資的経費)	96万円
		ローンの返済(公債費)	48万円
		貸付金、貯金など	24万円
		支出計	500万円

○家計に占める支出の割合を4年前（政令市初年度）と比較すると？

下のグラフのように食費(人件費)、医療費(扶助費)、光熱水費等(物件費など)及びローンの返済(公債費)など家計のなかで経常的に発生し任意に節減しづらい経費の割合が増加しています。このような経常的経費が増加してきている状況は家計が硬直化してきていることを表しています。



- 『食費』(人件費)
- 『光熱水費』、衣料費などの生活費(物件費ほか)
- 車の修理代や家の『修繕費』(維持補修費)
- 『ローンの返済』(公債費)
- 家族の『医療費』(扶助費)
- 生計を別にしている家族への『仕送り』(繰出金)
- 『車の購入』や家の増改築、土地の購入など(投資的経費)
- 友人への援助金・『貯金』など(積立金・貸付金ほか)

## さいたま市の貯金・借金

○さいたま市の貯金はどれくらいあるの？

→ **約474億円** になります。(全会計 となると**約496億円**になります。)  
(平成18年度末一般会計基金残高見込額)

○市民\*\*1人あたりに換算するとどれくらいになるの？

→ **約4万円** になります。[政令市\*の平均は約2万9千円です。]

(全会計 となると **約4万2千円** になります。)

(参考)

☆本市を除く13政令市 (参考資料：平成17年度普通会計決算状況調査より)



○さいたま市の借金はどれくらいあるの？

→ **約3,567億円** になります。(全会計 となると**約6,491億円**になります。)  
(平成18年度末一般会計市債残高見込額)

○市民\*\*1人あたりに換算するとどれくらいになるの？

→ **約29万9千円** になります。[政令市\*の平均は約79万2千円です。]

(全会計 となると **約54万4千円** になります。)

(参考)

☆本市を除く13政令市 (参考資料：平成17年度普通会計決算状況調査より)



○どうして借金をするの？

公共施設などは、将来にわたり長期間使われるものです。そこで**世代間で負担を平準化**するためにその建設費等の資金を調達するのに長期にわたって返済する市債を活用しています。

(例)学校建設、公民館・消防署の整備、駅舎改修、道路・公園・河川整備事業ほか

(注) 全会計とは、一般会計・特別会計(国民健康保険事業ほか)・企業会計(水道事業ほか)を合わせたさいたま市全事業の合計  
平成19年1月1日現在の総人口 1,193,456人で計算

(注) 詳しい内容につきましては、市HP又は『さいたま市の財政(平成19年6月)』をご参照願います。